

福原の正源庵と

虚空蔵菩薩さま

上阿井福原上の中央に三間に四間位の大きな御堂があります。これが正源庵という仏堂です。このお堂は元上阿井石畑と梶畑の間にあり、櫻井家第三代直重、第四代直義さんも大変信仰されていたと伝わっています。それがいつの時代か不明ですが現在地に移されたといわれています。正源庵とは、当時の和尚さんの名前、正源をとって正源庵となったようです。

ご本尊様は俗に「こく地藏さん」と呼ばれていますが、本当は「虚空蔵菩薩」（こくうぞうぼさつ）と呼ぶ仏様です。右手に知恵の剣、左手に福徳の宝珠（ほうじゆ）を持たれ高さは、蓮台の下から光背の先端まで約一メートルもある立派な仏様で、我々に高くて広い知恵と福と徳を授けられる仏様として信仰されています。

又この仏様は、大正二年時の内務省の係官の鑑定により、鎌倉時代の作とされています。残念ながら作った人は不明です。

お供養（おまつり）は、毎年七月初め福原集落の方たちが集まって、妙楽寺の和尚さんに来ていただいて盛大に行われています。

